

帆走指示書/ SAILING INSTRUCTION

JPKA/KITE COURSE RACING JAPAN TOUR

1) 適用規則

2017-2020 セーリング競技規則(RRS)及び同附則(F)

TT·R CLASS (IKA Twin Tip Racing Class Rule を適用する)

大会実施要項(レース公示)

本帆走指示書

2) 帆走指示書の変更並びに選手への通告

本帆走指示書の変更並びに選手への通告が有る場合は大会本部の公式掲示板に
当確のレーススタート 20 分前迄に掲示される

3) 責任の所在

本大会のレースコミッテーター及びボランティアスタッフは人員、物件に対する
全ての損害の責任を負わない、出艇しスターするかしないか、あるいはレース
を継続するかどうかの判断及び水上における安全管理の責任は各選手にある

4) レースエリア、コース図

レース当日の最初のスタート予定時刻の 30 分前迄に公式掲示板に掲示する
トップフィニッシャーの周回所要時間の目標 15 分～最長 30 分以内のコース設定を
目標とする

5) 風速規定

FOIL クラス

ミニマムウィンド **6 knot/sec**, マキシマムウィンド 25 knot/sec

TT·R クラス

ミニマムウィンド **10 knot/sec**, マキシマムウィンド 25 knot/sec

6) 陸上で掲揚される信号機

6.1 AP 旗(音響 2 声)レースのスタートは延期された / 降下の際(音響 1 声)

6.2 オレンジチェッカー旗(音響 1 声)間もなく予定されているレースが行われる レースエ
リアに向かえ

6.3 L 旗(音響 1 声)新たな選手への通告が公式掲示板に掲示された

6.4 AP 旗+A 旗(音声 2 声)スタートしていないレースを延期する本日はこれ以上

レースは行わない

7) 水上で掲揚される信号旗

7.1 スタート信号

FOIL クラス オレンジチェック旗

予告信号 / U 旗掲揚(音響 1 声)	スタート 5 分前
準備信号 / 準備信号レッド旗掲揚(音響 1 声)	スタート 3 分前
準備信号レッド旗降下イエロー旗掲揚(音響 1 声)	スタート 2 分前
準備信号イエロー旗降下ブルー旗掲揚(音響 1 声)	スタート 1 分前
スタート信号 /ブルー旗降下(音響 1 声)	スタート

TT:R クラス ブラック旗

予告信号 / T 旗掲揚(音響 1 声)	スタート 3 分前
準備信号 / 準備信号レッド旗掲揚(音響 1 声)	スタート 2 分前
準備信号レッド旗降下イエロー旗掲揚(音響 1 声)	スタート 1 分前
スタート信号 /準備信号イエロー旗降下グリーン旗掲揚(音響 1 声)	スタート

7.2 その他の水上で掲揚される信号

7.3 AP 旗(音響 2 声)レースのスタートは延期された、降下の際は(音響 1 声)

新たな信号は AP 旗降下後 1 分後に掲揚される

7.4 AP 旗+H 旗(音響 2 声)レースのスタートは延期された、陸上へ戻れ

新たな信号は陸上で発せられる

7.5 N 旗(音響 3 声)スタートしたレースは中止する スタートエリアに戻れ

降下後 1 分後に新たな予告信号が掲揚される

7.6 N 旗+H 旗(音響 3 声)レースは中止された、陸上へ戻れ 新たな信号は陸上で

発せられる

7.7 L 旗(音響 1 声) 選手は声の届く範囲に寄り通達事項が有る

7.8 X 旗(音声 1 声) スタートに於いてリコール(OCS)が現認された

7.9 第一代表旗(音響 2 声)スタートは"ゼネラルリコール"と成った、帆走を止めスタート

エリアに戻り 再スタートに備えろ / 降下の際は(音響 1 声) 1 分後に新たな予告信号が掲揚される

8) スタートの規定

8.1 スタート 1 分前のスタートエリアのミニマム風速はアベレージ 6knot/sec、TT・R クラスは 10knot/sec とする。風速の判定はレースコミッテーターが判断する

8.2 スタート信号の 1 分前からの意図的にスピードダウンをしたりシバーし艇をストップしては成らない、偶発的に沈をした場合や沈をした艇を避ける場合はこの規定に抵触したとは見なさない

8.3 スタートラインは FOIL ボードクラスはスタート 4 分後に消滅し U 旗降下。TT・R クラスはスタート 1 分間後に消滅しグリーン旗降下。これ以降のスタートは DNS と判定される

9) フィニッシュライン

各クラスのフィニッシュラインは本帆走指示書 4 項に記載されたコース図に記載される

10) タイムリミット

FOIL ボードクラス

各レースのタイムリミットはトップ艇フィニッシュ時間より 10 分間とする

TT・R クラス

各レースのタイムリミットはトップ艇フィニッシュ時間より 3 分間とする

11) 得点(スコアリング)

トップフィニッシュ艇を 1 点とし以下着順がポイントと成る低得点方式でスコアリングする、DNS, DNF, DSQ, OCS, BFD, DNC の得点は参加艇プラス 1 点とする

12) 選手の識別

参加選手は公式掲示板に公示された背番号のビブを着用し レースに参加しなければならない、着用しないままもしくは背番号が判読できない状態でレースに参加した選手は当確のレースのフィニッシュは認められず DNF としてスコアリングされる

13) 抗議(プロテスト)

レースエリアで起こったケースについて抗議しようとする選手は当確レースのフィニッシュ後速やかにレースコミッテーター(陸上本部又は海上本部艇)にその旨を伝えなければならない

その後抗議の内容が要件を満たしているかの判定を受けて抗議として受理されるか否かの判断がプロテストコミッテーターに因って判断される

艇体間でのケースに関してはケース後速やかに相手艇に抗議の意志を伝えなければならない

14) レース数及びカットレース

今大会の**最大レース数は 24 レース**とし、カットレース数は成立したレースの数により以下の通りとする

5 R 成立/ カットレース数 1

10 R 成立/ カットレース数 2

15 R 成立/ カットレース数 3

20 R 成立/ カットレース数 4

15) ランチングエリア

公式掲示板に図示される、

16) 出廷前には必ず出廷申告書に出廷時刻サインし、帰着した時にも必ず帰着申告書に帰着時刻をサインする事。記入されてない場合は失格とする。

17) 選手の義務

17.1 各クラスは必ずライフジャケット、ヘルメットの着用を義務づける。

17.2 カイトリーシュが安全に機能するコントロールバーを使用し、カイトリーシュの着用を義務づける。

17.3 ボードリーシュの使用を禁ずる。

17.4 参加する全てのライダーは使用する道具の申請を大会本部で行う事(カイト及びボード)。申請以外の道具の使用を禁ずる(レース中破損してやむなく申請以外の道具を使う場合はレースコミッテーターの判断に従う事)。**FOIL** ボードクラスはカイト最大4枚、ボード及びフォイルは各1とする。**TT:R** クラスはカイト最大4枚、ボード2枚までとする。申請以外の道具を使用した場合は各当するレースを**DSQ**とする。